



大島事業所トピック No. 330

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行

平成 21 年 4 月 6 日

〒100-0212 東京都大島町波浮港 18

Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

平成 21 年 大島地区テングサ作柄調査結果

ハナ・ヌマの付着がみられるが、繁茂量は平年並み

大島のテングサ漁場 14 地点で、口開け前の生育状況を調査しました。ハナ付き（カギウスバノリの付着）、ヌマ付き（珪藻類の付着）が多いものの、藻長は長く、着生量も平年並みであることから、今年の大島地区のテングサ作柄は平年並みと思われます。

大島の 4 地区、14 地点で調査を実施

調査は、2 月下旬～3 月にかけて、大島の元町地区 3 地点（前浜、シグラ崎、泉浜）、岡田地区 4 地点（野田浜、灯台下、小口、苗根）、泉津地区 4 地点（秋の浜、二本松、ゼンマ下、ミミズ浜）、波浮地区 3 地点（カキハラ、波浮港東側、差木地漁港口）の計 14 地点（図 1）で、SCUBA 潜水により 1 m²の枠取り調査（写真 1）を行いました

ハナ、ヌマ付き多いが、繁茂量は平年並み

着生量は、平均 742g/m²で昨年より多いものの、過去 10 年間で比較するとほぼ同量でした。藻長は、多くの地点で 15 cm を超え、概ね良好でした。

質は、ハナ付、ヌマ付が認められ、良好ではあり

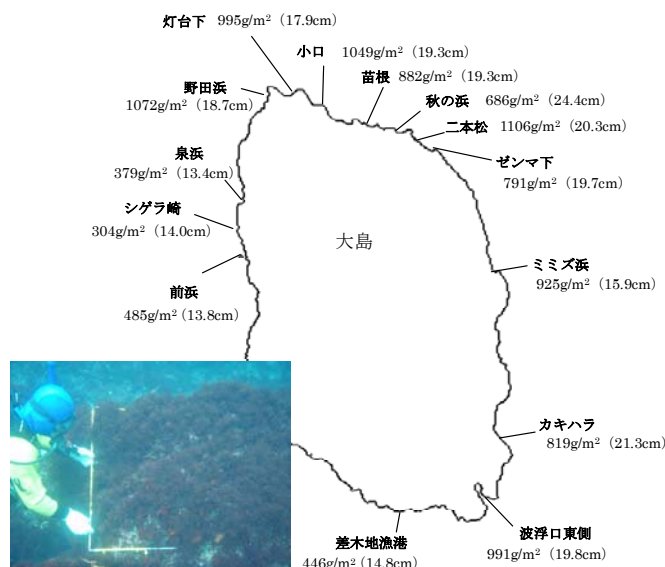


写真 1 枠取り調査風景

図 1 調査地点とテングサ着生量（ ）内は平均藻長

ませんでしたが、その他の雑藻の混生率は、全体では過去 10 年間で最も低い結果となりました。

本年の大島地区のテングサは、ハナ付、ヌマ付が多いものの、藻長は長く、全体平均の着生量が平年並みであることから作柄は、平年並みと思われます。

表 1 枠取り調査結果（地区別平均）の過去 10 年の変化

地区	項目	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	平均	H21
元町	着生量 (g/m ²)	700	302	285	590	331	663	540	818	548	394	517	389
	藻長 (cm)	10.3	10.6	9.5	12.2	8.6	10.5	11.1	13.1	15.9	10.3	11.2	13.7
	雑藻混生率 (%)	36.3	58.8	71.7	47.1	69.0	30.0	35.8	8.9	3.1	34.5	39.5	5.6
岡田	着生量 (g/m ²)	793	733	1530	1346	693	678	882	640	517	690	850	949.4
	藻長 (cm)	15.8	13.4	20.1	18.1	14.0	17.9	15.2	18.9	15.3	21.0	17.0	18.8
	雑藻混生率 (%)	6.5	21.6	13.8	9.1	15.9	22.8	16.7	14.3	29.3	23.1	17.3	12.3
泉津	着生量 (g/m ²)	580	736	929	1461	665	553	675	817	579	638	763	877
	藻長 (cm)	16.5	15.7	16.8	18.7	17.9	20.3	15.9	19.1	20.6	18.2	18.0	20.1
	雑藻混生率 (%)	30.1	24.5	34.2	6.2	17.6	34.1	27.0	30.6	13.9	20.1	23.8	18.9
波浮	着生量 (g/m ²)								603	762	838	734.5	752.1
	藻長 (cm)								16.8	21.0	21.0	19.6	18.6
	雑藻混生率 (%)								0.0	0.0	0.3	0.1	3.6
大島	着生量 (g/m ²)	689	648	972	1241	563	631	699	758	565	640	741	742
	藻長 (cm)	14.9	13.8	16.0	17.2	13.5	16.2	14.1	17.0	17.8	17.6	15.8	17.8
	雑藻混生率 (%)	21.9	30.2	37.0	15.6	34.2	29.0	26.5	17.9	11.7	19.5	24.4	10.1

* 波浮地区は平成18年より調査を開始したため過去3年間の経年変化